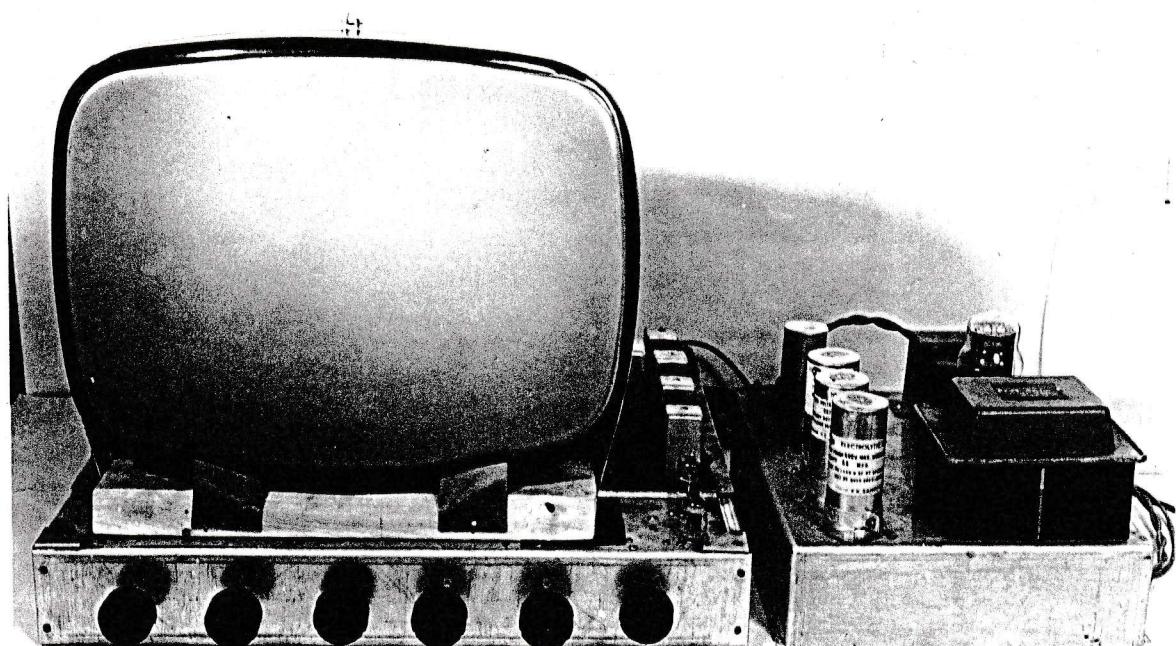
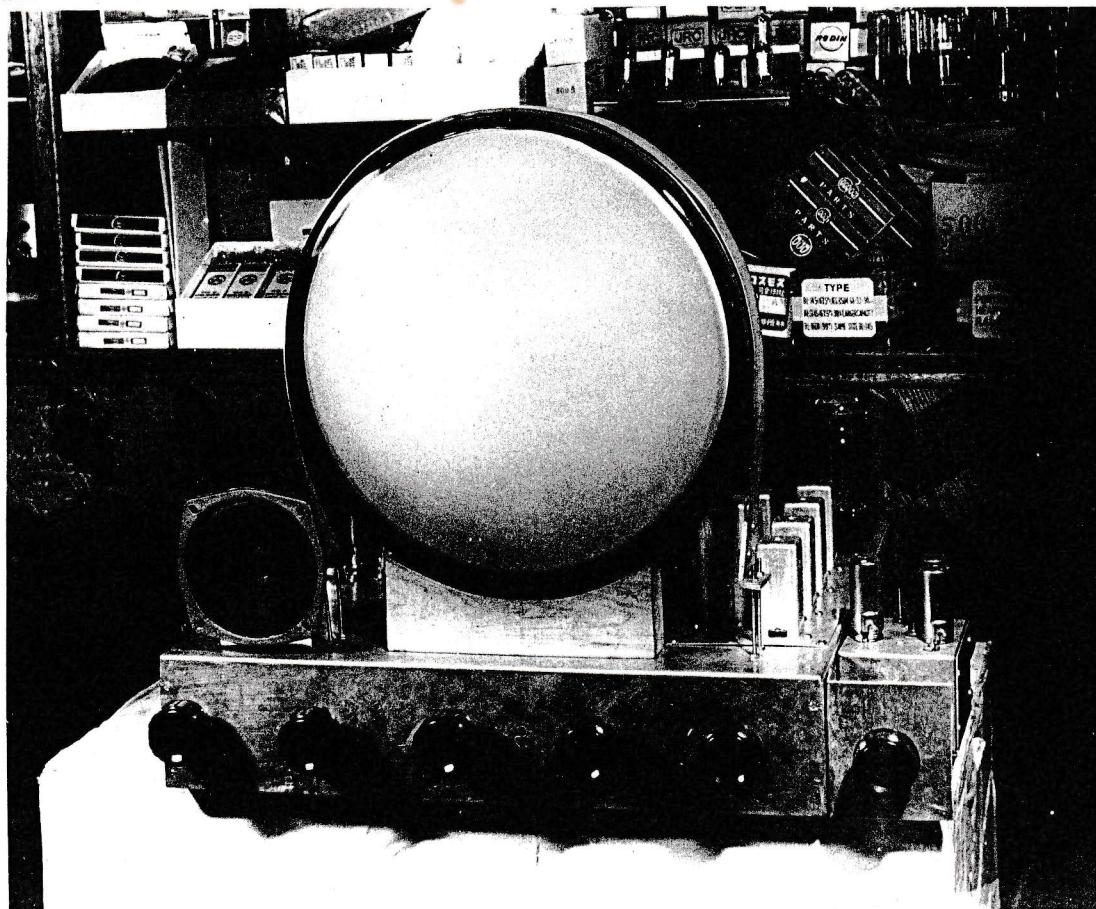


# 仕事の記録

特A4  
40

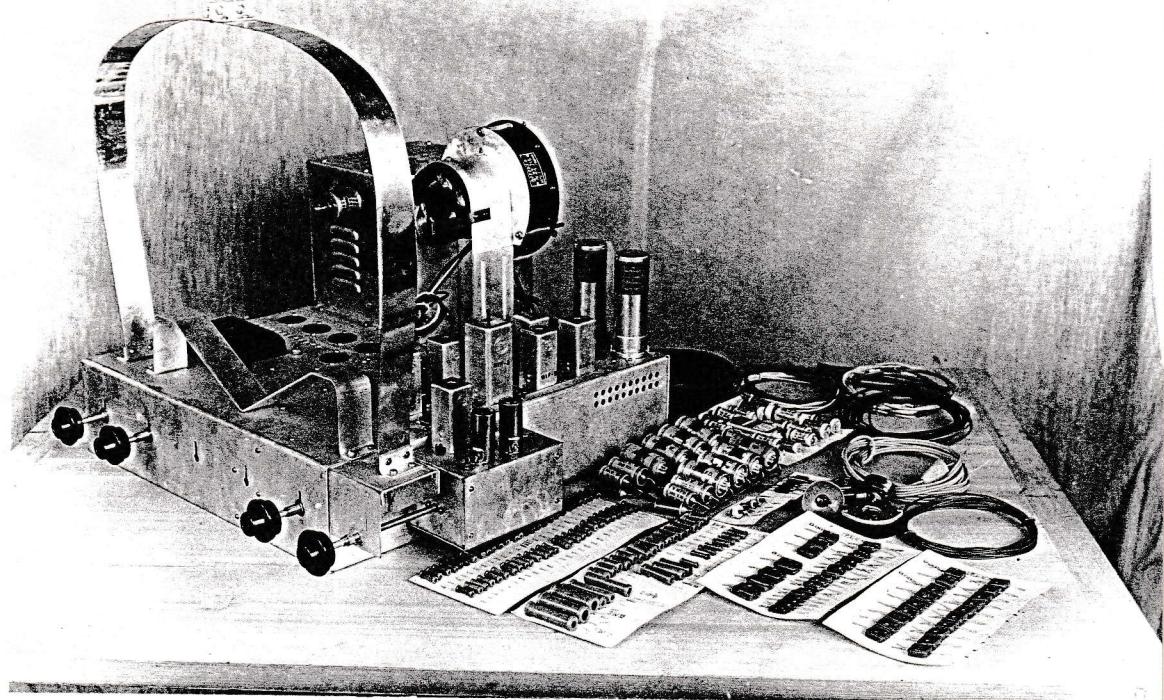
LIGHT

二. ビデオの内容  
国内向テレビキット

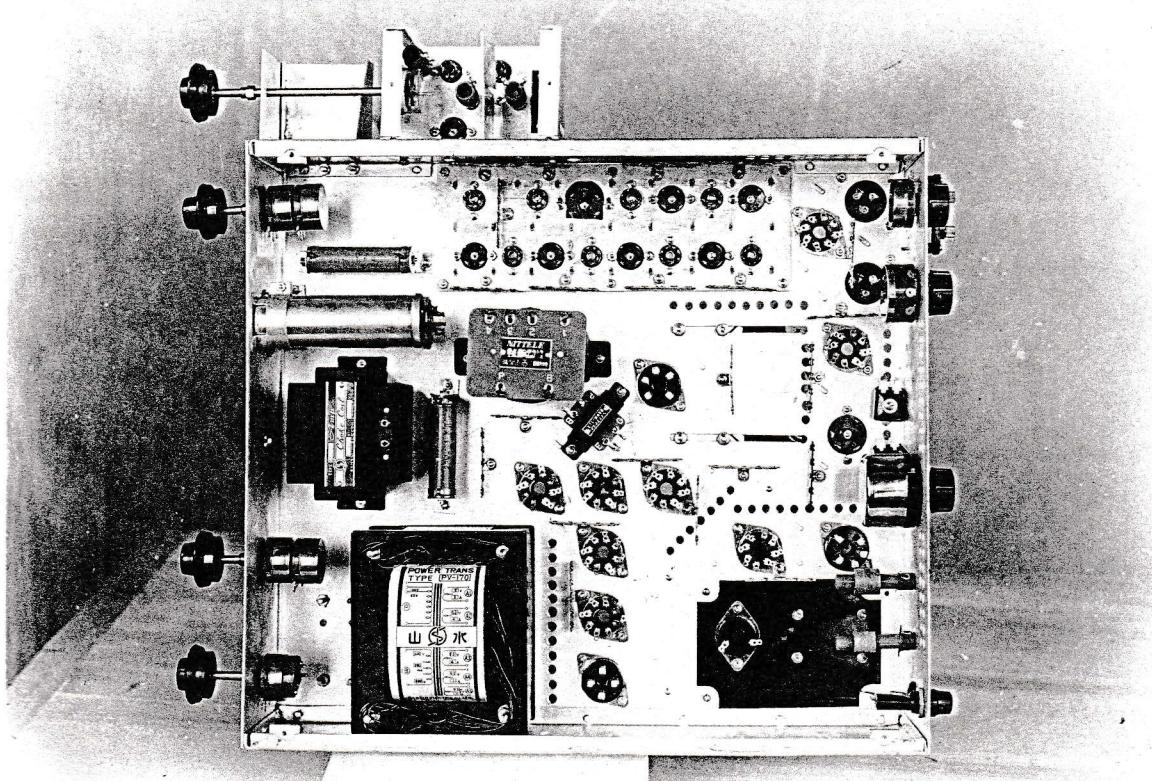


電源非同期12V→左右別電源で実験。

# テレビキットの内容.



42-1-1は1チャンネルの付(103.25MC. 1/2)  
(107.75MC 1/2)



20.09.2-25

1201 0201

25-5~29·4

1950~1954

S 25-4-2 寛波受信工学 関英男 神田にて求む ￥380.-  
ラジオ関係の基礎的な記述があり、参考した。むづかしい本

無線従事者同窓試験 無線技術士、2級12合格。

日本テレビ工業にてテレビジョンの設計試作、馬田国平社長、杉山、網波代など

柴田俊生氏12技術指導を受ける。

NHK技術よりの寛波受像12成功。小人ヒ青虫。

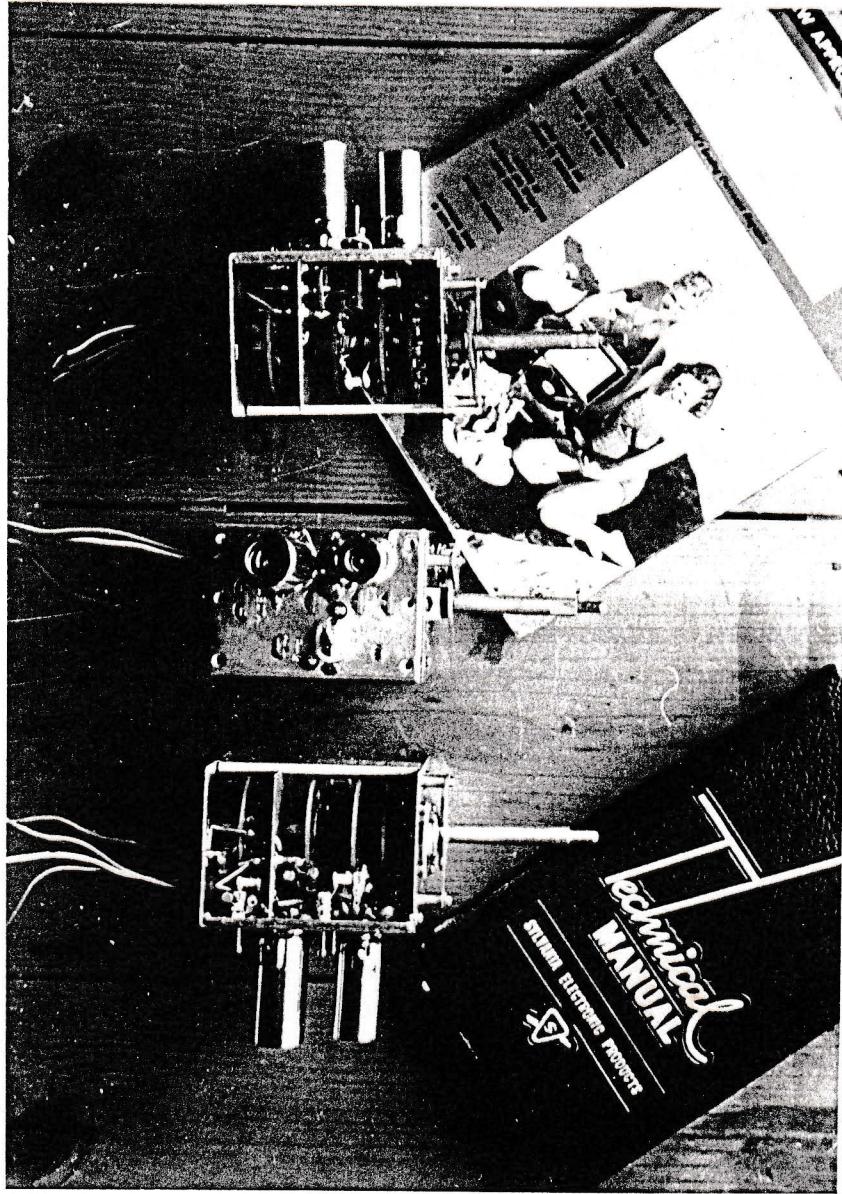
昭和28-7-1 厚生年金加入(健康保険加入)

全線産業(株)12移行。

JULY, 7, 1953

A.23-3-28  
8001-401

東芝小向工場 テレビ向 64×2ネル 42-+



ミニキ配器にて チューナ設計

33-5~37・4

1958 ~ 1962

1958~196

〈昭和33年5月~37年4月〉

1958	33年5月	・アンペックスのVTR、日本に初入荷
	7月	・毎日テレビ25日に初電波
	8月	・読売テレビ開局
		・ラジオ関東発足
	10月	・テレビ10kw時代へ
		・東京タワー仕上げへ
	11月	・第1回バーツショー開幕
		・関西テレビ開局
	12月	・ソニー純国産VTR(放送用)完成
	34年1月	・民放初のステレオラジオ放送
		・モトローラがステレオテレビ公開
		・東芝、東洋オーチスを吸收エレベーター開始
1959	3月	・関西のテレビ局がカラー実験放送へ
	4月	・NTVのカラー実験にCM許可
	5月	・東芝が国産初のカラーテレビ車を完成
		・電振協の計算センター開所
		・米ATT、ITTが人工衛星通信を発表
	7月	・NHKのFM10月開局が決定
		・HBCが国産VTR初採用
	8月	・東芝VTR第1号を完成
		・五輪テレビで宇宙通信体制強化へ
	11月	・沖が世界初のAPMを山形放送へ納入
	12月	・早川がITVに進出
	35年2月	・関西テレビとコロムビアが二色カラー
1960		・池上がNHK向け無人テレビ放送機
	3月	・国鉄、列車無線電話に着手
	4月	・岩通が60MCオシロスコープ
		・東芝が初の電子文献検索装置
	5月	・富士通が磁気ドラム完成
		・FM東海発足
		・東芝が電算機発表
		・気象庁が富士山にレーダー設置計画
	6月	・松下が放送機に進出
	7月	・日電、世界最大の50kWクリストロン
		・欧州にUHFテレビ出現
	8月	・IBM3000システム発表
1961	9月	・東芝、大電力気象レーダー完成
		・電算機メーカーとIBMの技術提携、基本線決まる
		・カラーテレビに認可
		・カラー本放送開始
		・東芝とキヤノンが円形磁気録音で提携
		・沖が電算機に乗り出す
	10月	・電波研が月へ電波発射
	12月	・三菱が電算機に進出
		・東芝Iヘッド、カラーVTR完成
	36年2月	・東芝が留守番電話を商品化
		・第二次チャンネルプラン265局、Uは37局
	3月	・全国産のX線テレビを東芝が開発
1962	5月	・日立が電算機のノウハウでRCAと提携
	7月	・三菱が事務用電算機の製作へ
	8月	・日本トランシーバー工業会発足
	37年1月	・KDD宇宙通信実験所着工
1962	3月	・NHKがFMステレオ化計画
	4月	・富士通が全電子交換機の初の実用化

喜安化

7月 パラジスト回路、上下、丸善、訳本 25

8月 ラジオトロンデバイス ハンドブック 訳本

3月 半導体回路ハンドブック 訳本、東大、近畿大等

33-5~37.4

1958~1962

S 33-8-1 大成無線株式会社 入社.

8.34

長女 誕生

肺石医院

122 戸塚区長尾台 12 住む。

S 36-10 ラジオ組立説明書 N0.2 2石トランジスタラジオ TR260K.

S 37-1-16 取締役工場長.

S 37-6 ラジオ組立説明書 N0.4 5球スーパー ラジオ

37-5~41.

1962~1966

S 37 次女誕生 誕生 戸塚区長尾台

S 38-7 デルモニコ FA700 製造開始 AM/FM ラジオ (テープル型 真空管)

S 38-9 まで12 製造中止 モデル (新持権に移行のため)

GR85. TRL200, ハーレー. HTR255, HTR520 INT

HR530, UZ230, TL230 HR520, HR500

S 38-9. 5球テープルラジオの英文説明書 (アボロ社.) キット用

デルモニコ.

FA700, FA727, FA740, PB735, PB741, PB742

TC746, MPX747

ステレオ放送にそり立て ステレオ化対策.

S 40-8 ラジオ設計工学(改) 鶴野松寿, 高橋良  
実際の設計, 12 役立つ.

150

# 大成無線(株) 製品



41-5~45.4

1966~1970

〈昭和41年6月~45年4月〉

1966	41年6月	・東方電機、A P通信から写真伝送装置275台受注
	7月	・昭和41年度電算機レンタル300億円突破
	8月	・日電、米ヒューズ・エアクラフト社と合弁のサテルコを設立
	9月	・日立、高速漢字プリンターを開発
	10月	・大蔵省、電算機輸入関税引下げ企図
	11月	・NHK、世界初のモノカラー方式フィルムカラ開発
	12月	・IC化電卓、各社名乗り
	42年1月	・インター・ホン工業会発足
	2月	・通産省、電算機の集中生産のため共同出資会社育成へ
	3月	・日本電子機械工業会、受信障害改善へ陳情
1967	4月	・電算機で需要予測、本紙が初の試み
	5月	・富士通が電算機で翻訳、カナダの万博で実演
	6月	・富士通機製造が富士通に社名変更
	7月	・カシオ、20万円割る電卓を発売
	8月	・RCAが電子走査レーダー発売
	9月	・米でVTR規格統一への動き
	10月	・秋にUHF免許、郵政省(小林)が公式表明
	11月	・通信機輸出大幅減少
	43年3月	・NHK、カラー用スローモーションVTRを採用
	5月	・電電公社、データ通信本部を設置
1968	6月	・沖、中型電算機9000シリーズの発表
	7月	・NHKと東方電機がカラー写真電送の試作機を共同開発
	8月	・電算機もミニ時代、米国業界が火付け役
	9月	・富士通がテレビ電話の概要を公開
	10月	・アジアエレクトロニクス協議会4月に発足
	11月	・キヤノンカメラ、電子写真分野の第3方式としてNPシステムを完成
	44年2月	・日電、オプカルファイバー利用のファクシミリを発表
	3月	・日立中研、東大と共同で2DA方式のタイムシェアリングシステムを開発
	4月	・東芝、グラスファイバー採用の平面走査型ファクシミリを開発
	5月	・NHK、3月からFMの本格放送開始
1969	6月	・ミニコンの国産各社、進出相次ぐ
	7月	・近づく電卓の家庭普及、10万円割るのも時間の問題
	8月	・電子計算センター全国で330カ所が稼働
	9月	・事務機43年内需3500億円。電卓は4年間で37倍の伸び
	10月	・通産省大型プロジェクト、超高性能電算機標準化案まとめ
	11月	・岩通、小西六、コピアの3社が複写機で提携
	12月	・情報処理、提供サービスを情報産業と呼称
	45年1月	・日立、富士通、日電の3社で超高性能電算機を製作、来年度半ばには完成の見通し
	2月	・IBM、ソフトウエアの価格を分離、レンタル買取りとも3%の値下げ攻勢
	3月	・アポロ11号、月面着陸
1970	4月	・テレビ音声多重第一次試験実施計画決まる
	5月	・第4世代電算機の開発が内外で進む
	6月	・松下電器、ホームファクシミリを開発
	7月	・初の本格的CATV(東京ケーブルビジョン)今月中に業務開始
	8月	・東芝、大型電算機に進出
	9月	・三菱グループ、情報産業に乗り出す
	10月	・電電公社テレビ電話実験
	11月	・東芝、電算機のリース会社設立
	12月	・富士通、漢字プリンター発表
	45年1月	・日本万国博開幕
1971	2月	・通産省・電波試験所と松下通信がレーザーによるデータ伝送実験に成功
	3月	・東方電機が大型グラスファイバー方式を採用したファクシミリを開発

機械設計データーブック 記本 松下

製品設計データーブック 記本 松下

音声端子設計調整 鳥山鶴雄

電子技術者のための計算用表記作図法 花園

ラジオ工学 ターマン ①~④ ￥450.-  
古本屋にて。

機構設計データーブック 記本 松下  
機構

300

41-5~45.4

1966~1970

S42 夏より 第2. 第4 土曜日の休日化始める。

S43 人手不足の爲、55才 江上の嘱託 ~~使用~~ 様 ~~用~~ を始める

昭和44年2月、ユニオレ様工場 1期分 完成し、仮使用開始。(小松建設施工  
第1期 工費  $\text{¥} 101,296,000.00$  43-8-1 着工。

敷地、440坪 建築面積 910.9坪 (3階建 1部4階)  
44-6-30 完了 3定  
鉄筋コンクリート  
外壁 シボレーフラス (ALC)

S44-5 社長、沢田君 海外出張 アメリカ、イタリイ

## 山菱電機(株) Yamabishi Electric Co., Ltd.

本社 〒543 大阪市天王寺区空堀町16-11  
 大阪工場 〒580 大阪府松原市阿保1-17-2  
 出水工場 〒899-01 鹿児島県出水市下知識11045  
 伊佐工場 〒895-28 鹿児島県伊佐郡菱刈町重留1479

資本金 4,200万円  
 従業員数 130名

代表取締役社長 蓬池孝夫  
 取締役 蓬池ヨネ子  
 取締役 菊地時雄  
 取締役 横山盛行  
 監査役 富本亨

## 取扱製品

耐電圧試験器・測定用関連機器・電源装置・電源トランス

## ユース電機(株) Youth Electric Co., Ltd.

本社 〒161 東京都新宿区西落合1-25-13  
 本庄工場 〒367 埼玉県本庄市小島南1-11-21  
 室蘭工場 〒050 北海道室蘭市中島町2-17-7

資本金 3,500万円  
 従業員数 243名

取締役社長 星幸衛門  
 常務取締役 小山正雄  
 常務取締役 鍵鉦三  
 常務取締役 星久夫  
 取締役 三宅栄治  
 監査役 清水孝雄

## 取扱製品

低周波コイル・低周波トランス・パルストラ ns・電源トランス・高周波コイル・  
 その他のトランス

## (株)ユタカ電機製作所 Yutaka Electric Mfg. Co., Ltd.

本社 〒211 神奈川県川崎市中原区刈宿228  
 秩父工場 〒369-14 埼玉県秩父郡皆野町1632  
 大阪営業所 〒540 大阪市東区京橋3-68(日精ビル)

資本金 5,500万円  
 従業員数 300名

会長 西村正一  
 代表取締役社長 西村潤智  
 取締役 船橋吉  
 取締役 野口藤吉  
 取締役 松浦等  
 取締役 西村和澄  
 監査役 原雄

## 取扱製品

測定用関連機器・電源装置・電源トランス・トランス用コア・コイル用コア

## ユニオン(株) Union Co., Ltd.

本社 〒230 横浜市鶴見区上末吉5-31-22

資本金 1,000万円  
 従業員数 170名

代表取締役 馬目平幸  
 取締役 中島正彦  
 取締役 伊澤龍彦  
 取締役 澤田俊一  
 取締役 馬目洋一  
 監査役 馬目洋一

## 取扱製品

プリアンプ・メインアンプ・FMチューナ・ミュージックセンタ・クロックラジオ

## ユニソン(株) Unizon Corp.

本社 〒664 兵庫県伊丹市東有岡1-18  
 東京支店 〒160 東京都新宿区西新宿1-4-9  
 梁瀬工場 〒669-51 兵庫県朝来郡山東町矢名瀬字柿ノ木段

資本金 1億574万円  
 従業員数 390名

代表取締役社長 広瀬恭一  
 取締役 門脇精

# 会社概要



ユニオン株式会社

横浜市鶴見区上末吉 5丁目31番 22号  
TEL 横浜 581-1404 (代表)



取締役社長

馬目周平

SHUHEI MANOME

## ごあいさつ

私が日常考えていることは……

第一に、いかにしたら、より良い品物を安く作って社会のためになるか。

第二に、いかにしたら会社も、社員も健全に発展することができるか。

第三に、いかにしたら会社の内容を業界で一流にすることができるか。

と、ということです。

幸い、以上の三点とも年を追って理想に近づきつゝあります。皆さんも第三者の公正な立場で当社においてになり、私の考えが正しいかどうかを判断して下さい。

それから、会社というものは建物が大きいとか、資本金や従業員が多いから良い会社とは申せません。

皆さん自身が働きがいのある会社に職を求めることが人生のもっとも大切なことだと思います。

## 当社の概要

商 号 ユニオン株式会社

本社・工場 横浜市鶴見区上末吉5丁目31番22号

設立年月日 昭和29年4月6日

資 本 金 壱千万円（留保金式億五千万円）

建物面積 3,100平方m（3階建、冷暖房完備）

従業員 220名

製造品目 音響関係全般の製品

ステレオ コンポーネント

ステレオ コンソール

ステレオ テープ プレーヤ

まのめしゅうへい

社長 馬目周平



世界各国に輸出している

主な製品

